

公開シンポジウム
**「関東平野東部における
 第四紀研究の最近の成果」**

普及講演会
「第四紀研究の最前線」

8月25日 日 9:00~16:00

銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城
 〒288-0047 千葉県銚子市若宮町4-8
 (銚子市役所向かい)

申込不要
 参加無料
 ブース展示
 もあるよ!

「第四紀」とは、地球の46億年にわたる長い歴史の中で、
 現在を含む最も新しい時代の名称で、年代的には
 約260万年前から現在までの期間になります。
 「屏風ヶ浦」の地層の大部分は第四紀に堆積したものです。

☆ブース展示 9:00~16:00

☆公開シンポジウム「関東平野東部における第四紀研究の最近の成果」

- 9:00 ~ 9:45 「日本列島東西圧縮の原因—海底から大地、そして山国へ—」 / 高橋雅紀 (産総研)
- 9:45 ~ 10:15 銚子地域における層序・テフラに関する第四紀編年研究
 : 関東平野形成過程復元のための優れた標準層序提供フィールド / 鈴木毅彦 (首都大学)
- 10:15 ~ 10:30 休憩
- 10:30 ~ 11:00 過去の多様性はどこまで保存されているか
 : 日本最大の鯨類化石産地・銚子市名洗層“下部”の鯨類化石群 / 村上瑞季 (秀明大学)
- 11:00 ~ 11:30 九十九里海岸の地形と表層地質 / 田村 亨 (産総研)
- 11:30 ~ 12:00 霞ヶ浦・利根川流域における縄文時代の環境と貝塚 / 一木絵理 (上高津貝塚ふるさと歴史の広場)

☆普及講演会「第四紀研究の最前線」

- 13:30 ~ 14:20 安定した気候の時代はいかに始まり、いかに終わるのか
 : 2つの地質学的記録と「文明の時代」の寿命 / 北場育子 (立命館大学)
- 14:30 ~ 15:20 堆積物から探る関東の巨大地震と津波 / 藤原 治 (産総研)
- 15:20 ~ 15:40 市民からの質問タイム